

令和8年度 第2学期

各教科の評価・評定の方法



第3学年

武蔵野市立第一中学校

各教科の評価・評定の方法

「各教科の評価・評定の方法」は、学習状況などについての評価や評定を生徒の皆さんや保護者の方に理解していただくためのものです。この方法を理解することで、どの内容について努力することが必要なのか、どのような点を改善すればいいのかということを見つけ出して下さい。

次のページからは、各教科の学習内容・主たる評価規準・評価方法・評価の観点が入記されています。

① 学習内容

学習する具体的な単元名や内容が入記してあります。

② 主たる評価規準

学習指導要領に示された目標に照らして、学習内容に即した評価の規準を明らかにしたもので、主に重点的に評価する項目が入記してあります。

③ 評価方法

定期テスト・小テスト・レポート・ノート点検・実技テストなど、主たる評価規準に即した評価方法が入記してあります。

④ 評価の観点

各教科の評価の観点が、評価規準、評価方法と関連させて記入してあります。

2学期の通知表の見方

□各教科の学習の記録

① 観点別学習状況の評価（分析的な評価）

観点別学習状況の評価は、学習指導要領に示されている各教科の目標に照らし合わせて、その実現状況を観点ごとに評価し、A、B、Cで記入してあります。

評価の観点は

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つです。この3つの観点は、同等の重みづけで評価されます。

② 評定（総括的な評価）

評定は、学習指導要領に示されている各教科の目標に照らし合わせて、その実現状況を総括的に評価し、5段階で記入してあります。評定は観点別学習状況の評価を総合して、算出したものです。

*観点別学習状況の評価と評定

観点別学習状況の評価		評 定	
十分満足できる	A	特に高い程度のもの	5
		十分満足できる	4
おおむね満足できる	B	おおむね満足できる	3
努力を要する	C	努力を要する	2
		一層努力を要する	1

観点別学習状況の評価のAには評定5、4の要素が含まれ、Cには評定の2、1の要素を含んでいます。観点別学習状況の評価が、AAAの場合、評定が4または5になることがあります。また、CCCでは評定1、2になることがあります。**第3学年は、1学期と2学期の合算で観点別学習状況の評価や評定が出されます。**

□特別の教科 道徳

学習状況から、生徒の成長を見取り、年度末に文章で記入します。

□総合的な学習の時間の記録

総合的な学習の時間の記録は、学習活動・観点・評価を記入します。また、「武蔵野市民科」の取り組みについての評価もこの欄に記載されます。3年生は2・3学期、1・2年生は3学期に表記されます。

□特別活動の記録

学級・生徒会活動・学校行事、所属の部活動などの記録です。

□総合所見

生徒の成長の状況にかかわる総合的な所見を示します。たとえば、各教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動・行動に関する事実・進路などの所見及び、生徒の特徴、学校内外における奉仕活動、表彰を受けた行為や活動などがあります。

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的な学習に取り組む態度
挨拶	・ 比喻や象徴的な表現に着目し、文脈での意味を考えることができる。 ・ 表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせて考えている。	ワークシート	○	○	○
故郷	・ 小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考えることができる。				
複数の意見を読んで、考えよう	・ 文章を批判的に読み、論理の展開や表現の仕方を評価することができる	グループワーク	○	○	○
考えを効果的に伝えよう	・ 批評文について知り、構成を考えて批評文を書くことができる。	発表	○	○	○
聞き上手になろう	・ 相手や場に応じた適切な言葉遣いを選ぶことができる。 ・ 相手の話の展開を予測しながら聞き、質問で話を引き出すことができる				
初恋 和歌の世界 君待つと	・ 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読することができる。 ・ 和歌の詠まれた状況や歴史的背景を理解し、作者の心情や描かれた情景を読み取ることができる。	小テスト	○	○	○
夏草 ー「おくのほそ道」から	・ 文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考えることができる。	定期考査	○	○	○
書写	・ これまでの書写で身につけた力を日常生活に生かすことができる。	ワーク	○	○	
文法・言葉・漢字	・ 文法の知識を表現に活かすことができる。 ・ それぞれの語の成り立ちや特徴・語感などを理解し、適切に使い分けることができる。	観察			

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歴史的分野					
第6章 二度の大戦と日本					
1節 第一次世界大戦と日本	・第一次世界大戦の原因・特色・影響について資料を基に考察し理解している。				
2節 大正デモクラシー時代	・大正デモクラシーの民主的な側面と限界について資料を基に考察し理解している。				
3節 世界恐慌と中国侵略	・各国の世界恐慌対策と日本の中国侵略の深化について考察し理解している。				
4節 第二次世界大戦と日本	・資料を基に戦争を多面的に考察し理解している。				
第7章 現代の日本と私たち					
1節 戦後日本の出発	・戦後日本の民主化・非軍事化と世相について考察し理解している。	定期テスト	○	○	○
2節 冷戦と日本の発展	・冷戦の動向と日本の政治経済の動きを関連させながら考察し理解している。				
3節 新時代の日本と世界	・冷戦後の世界と日本の動きを、生徒の見聞も交えて考察し理解している。	休み明けテスト	○	○	○
公民的分野					
第2章 個人の尊重と憲法					
1節 人権と日本国憲法	・人権思想の発展と日本国憲法の理念について考察し理解している。	プレテスト	○	○	○
2節 人権と共生社会	・様々な人権の内容と公共の福祉について、資料を交えて考察し理解している。	提出物（税の作文・書きこみノート等）	○	○	○
3節 これからの人権保障	・「新しい人権」と人権保障の国際的な広がりについて考察し理解している。				
第3章 現代の民主政治					
1節 現代の民主政治	・議会制民主主義・選挙・政党などについて資料を基に考察し理解している。	授業観察	○	○	○
2節 国の政治の仕組み	・国会・内閣・裁判所の制度や憲法の理念を考察し理解している。				
3節 地方自治と私たち	・地方自治の理念・課題と制度について考察し理解している。				
第4章 私達の暮らしと経済	・経済の大きな仕組みと身近な消費生活について考察し理解している。				
1節 消費生活と経済	・資本主義の基本と労働の現状・課題について考察し理解している。				
2節 生産と労働	・価格の決め方と金融の仕組みについて考察し理解している。				
3節 市場経済の仕組と金融	・景気変動と対策について考察し理解している。				

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度
4章 関数 $y=ax^2$ 1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方 3 いろいろな関数の利用	- 事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを知ると共に、いろいろな事象の中に関数関係があることを理解することができる。 - 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 - 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 - 関数を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。	授業内の発言・態度 課題プリント 問題集(リピート) 定期考査	○	○	○
5章 相似な図形 1 相似な図形 2 平行線と比 3 相似な図形の面積と体積	- 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解することができる。 - 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解することができる。 - 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 - 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。 - 相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 - 相似な図形を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。	テスト直しレポート 確認テスト等 (小・単元テスト) 授業の振り返り	○	○	○
6章 円 1 円周角の定理 2 円周角の定理の利用	- 円周角と中心角の関係の意味を理解し、関係性を見出すことができる。 - 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。 - 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することが出来る。 - 円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。	単元レポート		○	○
7章 三平方の定理 1 三平方の定理 2 三平方の定理の利用	- 三平方の定理の意味を理解し、証明できることを知っている。 - 三平方の定理を用いて、直角三角形の辺の長さなどを求めることができる。 - 三平方の定理の逆を用いて、ある三角形が直角三角形かどうかを見分けることができる。 - 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 - 三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。				

令和8年度

第2学期

各教科の評価・評定の方法

第3学年

教科名 理科

担当

沼田 侑樹

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度
物体の運動	・物体の運動について、実験の操作や記録の仕方などの基本的技能を身につけるとともに、その記録から力と物体の運動の規則性や関係性を見だし、力と運動についての基本的概念や原理・法則など理解している。	定期考査 実験レポート 小テスト ポートフォリオ ワーク提出 課題提出	○	○	○
力のはたらき方	・水中の物体にはたらく力、力の合成・分解について、実験の操作や記録の仕方などの基本的技能を身につけるとともに、その記録から力のつりあい、合成や分解の規則性や関係性を見だし、力の合成・分解についての基本的概念や原理・法則など理解している。				
エネルギーと仕事	・仕事や力学的エネルギーについて、実験の操作や記録の仕方などの基本的技能を身につけるとともに、その記録から力学的エネルギーの規則性や関係性を見だし、エネルギー保存についての基本的概念や原理・法則など理解している。				
	・仕事や力学的エネルギーについて、実験の操作や記録の仕方などの基本的技能を身につけるとともに、その記録から力学的エネルギーの規則性や関係性を見だし、エネルギー保存についての基本的概念や原理・法則など理解している。				
エネルギーの移り変わり	・日常生活や社会と関連づけながら、エネルギーの変換についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、観察・実験などに関する操作や記録の仕方などの基本的技能を身につけることができたか。また、エネルギー変換における各エネルギーの関連性を見いだして、科学的に探究している。				
天体の 1日の動き	・太陽や星の日周運動の観察を行い、操作や記録の仕方などの基本的技能を身につけるとともに、その観察記録から天体の日周運動の特徴や規則性を見だし、地球の自転と関連づけて理解している。				
天体の 1年の動き	・星や太陽の年周運動を調べるために必要な操作や記録の仕方など基本的技能を身につけるとともに、その観察記録から天体の年周運動や地球の公転についての特徴や規則性を見だし、地球の公転や地軸の傾きと関連づけて理解している。				

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌唱 合唱コンクール課題曲 「大地讃頌」 各クラス自由曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 ・リズム，速度，旋律，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト 定期テスト	○	○	○
歌唱 「帰れソレントへ」	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・音色，リズム，速度，旋律，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 定期テスト	○	○	○
鑑賞 西洋音楽史	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりについて理解する。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 定期テスト	○		○
創作 旋律創作	・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な，課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。 ・リズム，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，まとまりのある創作表現を創意工夫している。 ・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	○	○	○

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・ 判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
「スクラッチボード (心の中の風景)」 「四季の切り絵」 「世界の芸術を楽しむ」	○自分を見つめ、形のないものを表現することによって想像力を深め、自分の意図に応じて様々な表現方法を追求し創造的に表すことができる。 ○主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していくことができる。 ○材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを想像的に考えながら、構想を練り、また、見通しをもって表すことができる。 ○日本文化を理解することで想像力を深め、自分なりに感じた風景を自分の意図に応じて様々な表現方法を追求し創造的に表すことができる。 ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と工夫について考え、それを自分の作品へ生かすことができる。 ○世界の美術作品や表現の特質などから、文化のよさや美しさを感じ取ることができ、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなど、見方や感じ方を深めることができる。	・授業観察	○	○	○
		・アイデアノートや鑑賞プリント、振り返りカードなどの提出物	○	○	○
		・作品	○	○	○
		・定期テスト	○	○	○

学習内容		主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
				知識・技能	思考・ 判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
水泳	自由形・平泳ぎ 背泳ぎ・バタフライ ・時間泳	・特性や成り立ち、技術の名称や行い方などを理解している。 ・健康や安全に気を配り、水泳の事故防止に心がけることができる。 ・各泳法において、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・記録向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身につけることに積極的に取り組んでいる。 ・泳法を身につけるための運動の行い方のポイントを見付け、課題解決のために練習を工夫できる。 ・時間泳では自己に合わせたペースを考え粘り強く最後まで泳ぐことができる。	観察チェック (授業中の行動・姿勢 発言)	○	○	○
陸上競技	中・長距離走 (走り幅跳び)	・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 ・中・長距離走では自己に合わせたペースを考え粘り強く最後まで走り通すことができる。 ・走り幅跳びでは自分に合った助走距離を見つけ、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。		○	○	○
球技	バレーボール バスケットボール ハンドボール 卓球	・各球技種目の特性や成り立ち、技術の名称や行い方などを理解している。 ・積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとする。 ・自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫したりしている。 ・役割に応じたボール操作や定位置に戻るなどの動きによって攻防をすることができる。 ・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートし、ゴールを決めることができる。 ・攻防などの自己のチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		○	○	○
器械運動	マット運動	・技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する。 ・自己や仲間の力に合った技を選び、組み合わせたりすることができる。 ・技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の感じたことを他者に伝えることができる。 ・自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康、安全を確保することができる。 ・器具の準備や片付けで、分担された役割を果たし積極的に取り組もうとしている。 ・繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技、技を組み合わせた連続技を行うことができる。		○	○	○
体育理論	国際的なスポーツ大会とその役割	・オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解している。 ・自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 ・学習に積極的に取り組むことができる。	実技テスト 期末考查	○	○	○
保健分野	健康な生活と病気の予防 健康と環境	・健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病などにかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択することができる。		○	○	

※校舎工事、校庭の状況、天候などによって授業内容を変更することがあります。

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・ 判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
情報の技術の原理・原則と仕組み	○情報通信ネットワークの構成について理解する。	・授業観察	○	○	○
②情報通信とネットワークの仕組み	○情報通信ネットワーク上で情報を利用する仕組みを理解する。	・副教材	○	○	○
③情報セキュリティ	○情報セキュリティの基本的な知識について理解する。	・ワークシート	○	○	○
④計測制御の仕組み	○情報の安全を確保するために火張な判断や対応ができる。	・定期テスト	○	○	○
⑤情報化社会と私たちの生活	○身の回りにある情報の技術の工夫点について理解する。	・実技テスト		○	○
	○情報の技術に込められた工夫について考えることができる。				
	○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見することができる。				
	○問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。				
	○使用するメディアを複合する方法と、この効果的な利用方法を構想する。				
	○ソフトウェアを用いて、基本的な情報の処理ができる。				

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・ 判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
A 家族・家庭生活 3. 幼児とのかかわり ①ふれ合い体験の前に ②ドキドキワクワク ふれ合い体験 保育所に行ったよ！ ③ふれ合い体験は幼児 からの贈り物 ④子どもの成長と地域 幼児のおやつを作ろう	・幼児とのふれ合い体験について自分の課題をもち、ふれ合うときの留意点を理解する。 ・幼児とのかかわり方について身につけた基礎的・基本的な知識を活用し、工夫することができる。 ・幼児とのかかわり方について、感じたことや考えたことを話し合い、幼児への理解を深める。 ・子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で中学生ができることを考える。 ・伝承遊びを通して仲間との人間関係を豊かにすることができる。 ・幼児の消化能力等を考慮し、工夫しておやつを考えることができる。	授業観察 提出物 プリント ノート 定期考査 作品	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○
4. 家庭生活と地域のかかわり ①家庭生活と地域での活動 ②多様な人びとが暮らす地域 ③地域に暮らす高齢者 ④高齢者とのかかわり 生活の課題と実践	・家庭生活は、地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。 ・地域で、多様な人びとが暮らせるための工夫を理解する。 ・地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者を理解する。 ・地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者とのかかわりを考える。 ・自分の手を使って環境に配慮した作品を作る。				

令和8年度

第2学期

各教科の評価・評定の方法

第3学年

教科名 英語

担当 正木・永井・根岸・原口

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Lesson 4 Take Action! Bollywood Movies	【知識・技能】 後置修飾の肯定文の特徴やきまりに関する事項の文の意味・形・使い方を理解し、内容を読んだり、聞き取ったり、情報を書いたりする技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 与えられたテーマについて、自分の考えなどまとまりのある内容を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W) 与えられたテーマについて、自分の考えなどまとまりのある内容を書こうとしている。	・ペーパーテスト (定期考査等)	○	○	○
		・課題	○	○	○
		・パフォーマンス	○	○	○
Lesson5 Take Action! Translating Culture	【知識・技能】 関係代名詞の特徴やきまりに関する事項の文の意味・形・使い方を理解し、内容を読んだり、聞き取ったり、情報を書いたりする技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 (W) 海外の人に読んでもらうために、説明を加えて翻訳している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W) 海外の人に読んでもらうために、説明を加えて翻訳しようとしている。	テスト (ライティング) (スピーチ) (やりとり)			
Lesson 6 Being Fair	【知識・技能】 関係代名詞の特徴やきまりに関する事項の文の意味・形・使い方を理解し、内容を読んだり、聞き取ったり、情報を書いたりする技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 (S) 与えられたテーマについて、自分の考えを伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (S) 与えられたテーマについて、自分の考えを伝えようとしている。	・リスニングテスト	○	○	○
Lesson 7 Take Action! Design for Change	【知識・技能】 仮定法過去の特徴やきまりに関する事項の文の意味・形・使い方を理解し、内容を読んだり、聞き取ったり、情報を書いたりする技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 (S) トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 (S) トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答しようとしたりしている。				